

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 瑞浪高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月23日 (金) 15:50~16:40
- 3 開催場所 瑞浪市総合文化センター 視聴覚室  
開催にあたり、委員による「第37回卒業制作・実践活動発表会」を参観して  
いただいた。
- 4 参加者
- |        |        |                    |
|--------|--------|--------------------|
| 会長     | 山田 幸男  | 本校運営協議会 会長         |
| 委員     | 中島 功雄  | 瑞浪商工会議所 会頭 (欠席)    |
|        | 三輪田 幸泰 | 瑞浪市議会議員            |
|        | 伊藤 慶和  | 瑞浪市教育委員会 教育長       |
|        | 吉田 知己  | 瑞浪市立瑞浪北中学校 校長      |
|        | 正木 英二  | 瑞浪市みずなみ未来部長        |
|        | 伊藤 宏支  | 中京学院大学短期大学部 教授     |
|        | 渡邊 冬子  | 瑞浪市立竜吟こども園 園長 (欠席) |
|        | 玉川 幸枝  | 合同会社プロトビ 代表        |
|        | 萩野谷 康之 | 本校育友会長             |
| オブザーバー | 小川 祐輝  | 岐阜県議会議員 (欠席)       |
|        | 水野 光二  | 瑞浪市長               |
|        | 石田 智久  | 本校同窓会長             |
| 学校側    | 村橋 昌則  | 校長                 |
|        | 堀 裕邦   | 教頭                 |
|        | 今井 典彦  | 教務部長 (教務主任)        |
|        | 丸谷 利幸  | 進路支援部長 (進路指導主事)    |
|        | 小川 彩葉  | 教務部 (記録係)          |

### 5 会議の概要

#### (1) 今年度の振り返りと次年度に向けて

- ① 学校評価アンケートの考察及び自己評価について
- ② 教務部の取組み
- ③ 進路支援部の取組み
- ④ 生徒支援部の取組み
- ⑤ 保健厚生部の取組み
- ⑥ 涉外部の取組み
- ⑦ 生活産業部の取組み

## （2）本校の取組みを踏まえての質疑

- 意見1：自費購入になるタブレットについて県が指定するのか。
- 意見2：タブレットではなくノートパソコンではいけないのか。
- 意見3：タブレットの値段はどれくらいか。
- 意見4：現在使用しているタブレットはどうなるのか。
- 意見5：ほっとプレイスが人員不足とのことだが、県から補填されていないのか。
- 意見6：発達障害を持つ生徒の通級の動きはあるか。

## （3）卒業制作・実践活動発表会について

- 意見1：生徒が楽しくやっているのが伝わり、良い雰囲気だった。
- 意見2：今までの学びが自信になっているのが伝わった。
- 意見3：ファッションコースの最後のスピーチから、技術だけでなく生き方なども学んでいることが伝わった。
- 意見4：福祉コースの発表では、難しいテーマを掘り下げて分かりやすく説明していた。生活デザイン科の発表は、どこに焦点を当てて取り組んでいるのかがよく分かった。
- 意見5：中学2年生という卒業後の進路を考え始める時期に見られて良かった。
- 意見6：来年度入学してきた生徒に、今日の発表を見た影響を調査してほしい。
- 意見7：発表会に来ない地域の人たちにも活動を伝えられるよう発信してほしい。

## （4）本校への提言

- 意見1：学校評価アンケートについて、3年次からの評価が高いことから、3年次に対してやっていることを下の学年にできれば良い。
- 意見2：中学校でもICTの活用が広がってきてている。現在は逆にアナログの良さを見直す流れもあり、より効果的な方法を考えていく必要がある。
- 意見3：ICTの活用にはAIなどを使って楽な方に行ってしまう危険性もあり、正しい使用方法を教えていく必要がある。
- 意見4：タブレットの自費購入について、使用方法を事前に生徒や保護者に周知すると良い。
- 意見5：瑞浪高校に入りたい生徒の実態を調査する必要がある。インスタグラムの担当者をつけて、目標を高く取り組んでいってほしい。
- 意見6：中学生はインスタグラムをよく見ているので、発信は効果的であると考える。
- 意見7：本日の発表に向けた普段の取り組みなどをインスタグラムで発信すると良い。
- 意見8：地域探究が普通科の強みになっている。

## （5）会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、学校評価アンケートの考察及び自己評価に基づく学校関係者評価を行い、次年度に向けての数々の提言をいただいた。特に卒業制作・実践発表会で見られたような本校の魅力を発信していく方針について共有が図られた。